

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 カラーズ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職がそろっている	専門的視点での関わりができています	職員間で情報共有し、統一したかかわりをしていく
2	療育活動の充実	5領域を意識した活動を計画して実施している	同じ活動でも、個々の発達段階に応じた工夫をしていく
3	就園・就学支援	保育園の園庭開放に同行 地域小学校、支援学校の見学同行	保育園、地域小学校、支援学校、保護者、相談員との早めの対応、連携強化

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢に応じた備品の不足	トイレが大人用 手洗い場が高く狭い 幼児用の椅子が不足	幼児対応のトイレの工夫 幼児に合った椅子の確保
2	療育環境が十分でない	常にブラインドがおりている 廊下が暗い 療育スペースは広がったが、整理整頓できていない	ブラインドをあげることで明るくなるため、目隠しができるような窓の工夫 療育室にある物品の整理、不用品の処分 通常時、使用しないものを倉庫等に片付ける
3	送迎の調整が困難なことがある	送迎車、送迎者の確保調整が難しい 保護者の希望に添えないことがある	送迎時間の調整 保護者へお迎えの依頼

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス カラーズ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師、理学療法士、作業療法士、介護福祉士と多職種在籍している	関係機関連携加算、家族支援、専門的支援、入浴、送迎などの加算取得を行う仕組みを作っている	病院や他事業所と連携することで信頼と安心を持ち預けることが出来る場所を目指す
2	重心の受け入れが可能でミスト浴があり重心の入浴も可能 送迎車が6台あり2人体制で医ケア児の送迎も可能	毎日入浴と送迎を2人体制で行い医ケア児の対応も可能	他事業所や相談員との連携により地域で協力して入浴や送迎サービスの充実を図る
3	保護者と連絡帳や公式LINEでやりとりが出来る ZOOMやHUG、LINEWORKSの活用で業務の簡略化	事業所内だけでなく保護者や関連機関ともスムーズなやりとりが出来るようなツールを使用している	デジタルツールを活用することで連絡や情報共有がスムーズになる取組を今後も行う

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育経験の少ない職員が多く病院などとの連携が必要	療育経験5年以上が4人、10年以上が0人。 職員や利用時が増え業務が煩雑化し細かいマニュアルや情報共有が必要になってきている	個別支援会議や職種毎のミーティングを通して情報共有を行ったり、施設内研修や外部の研修に参加している 新人教育プログラムを作成する 病院や療育センターなどに見学に行ったり情報交換をしたりして連携していく
2	入浴希望利用児が多く時間の確保に工夫が必要 利用時の成長により移乗や入浴など介助が大変になってきている	入浴希望利用児全員の希望をカラーズだけで叶えるのは限界があり工夫が必要 重心の入浴には時間と人手が必要 ベッドがなく職員の体の負担が多い	スケジュールの調整や複数人での対応、介助シートの利用など行う 他事業所や相談員との連携を図り利用児や保護者にとって安心して過ごせるための調整を行っていく ベッドやリフトなど介助の工夫を検討していく
3	きりしま支援学校までの距離が遠く放課後のお出かけなどの計画が難しい	送迎に時間がかかる 近くにお出かけ出来る場所が少ない	送迎時を利用してお出かけ出来る計画を立てる 年間計画でイベント開催を行う 各事業所で時間の調整を行い様々な体験が出来るよう計画する